

プリントモータ カーボンブラシ交換手順

プリントモータのカーボンブラシの交換手順を下記にご説明させていただきます。

1. ブラシの点検と取り換えおよびブラシ粉の清掃

ブラシはプリントモータに最も適したものを厳選しており、更に接触圧力は当社で調整していますので、ご使用中に再調整する必要はありません。ただし、ブラシ摩耗はしますので、残り長さの限度に達すれば取り換える必要があります(表1)。

(表1) ブラシ寸法

プリントモータ 形 式	寸法 mm		長さ	残り長さ の限度	参 考 図
	縦	横			
UGPMEN-08 DA2	3	7	18	7.5	
(UG)PMES-09 A2	4	7	16	7	
(UG)PMES-12 A2	4	10	18	7	
(UG)PMES-16 A2					

(注) ブラシの交換時間はモータの運転状況によって変わりますが、一応 4000時間を目安としてください。

ブラシの取り外しは、次の手順で行ってください。

- (1) 端子カバーの取付ネジを外す(図1)。
 - (2) 端子カバーを取り外す(図2)。
 - (3) リード線、ブラシを取り外す(図3)。
 - (4) 乾燥したエアをブラシ挿入口の穴から吹き込み、ブラシケース内やモータ内部にたまっているブラシ粉をきれいに取り除く(図4)。
- (このとき、ブラシロックは絶対に取り外さないでください)

ブラシを点検する時は、必ず電源を切ってから行ってください。モータが回転していない(速度0)時でも、電源が入っていると電気がきていることがあり感電する恐れがあります。

また、油のついた手で点検したり油の付着しやすい所にブラシを置かないでください。

ブラシ及びアマチュアのブラシ摺動面に油分等が付着すると急激なブラシ摩耗の原因になります。

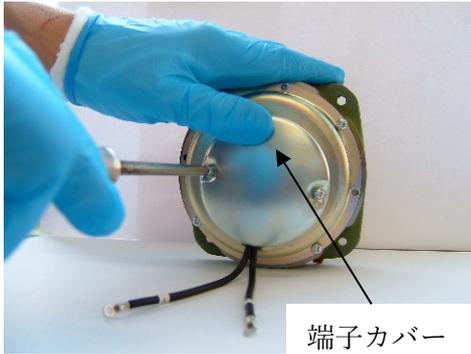


図1 端子カバーの取付ネジを外す



図2 端子カバーの取り外し



図3 リード線、ブラシを取り外す

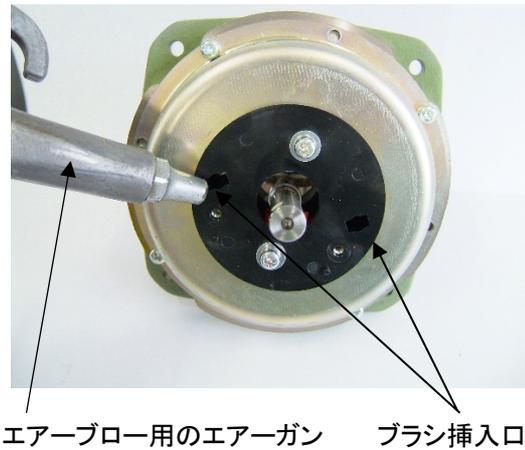


図4 ブラシ挿入口からブラシ粉エアブロー

2. ブラシが次のような状態の場合は、新品と取り換えてください。また取り換え用の予備ブラシが必要な場合は、弊社に供給可否をお問合せください。

- ・ブラシの長さが残り長さの限度に達したもの
- ・欠損あるいはひびがはいったもの
- ・ピグテールが変色または腐食したもの
- ・ピグテールの取り付け部分のゆるんだもの
- ・油気や水分を吸ったもの

ブラシ粉の清掃は、ブラシ取り換え時に、油気や水分のないエアをモータ内部に吹き込んで清掃してください。尚、ブラシを取り換えた当初は、ブラシが摺動面となじんでいないため特性の変動があり、ブラシの摺動音も大きくなりますが、1日程度運転すると安定してきます。

【注意事項】

カーボンブラシの交換可能な機種は下記となります。

【(UG)PMES形】【UGPMEN-08DA2】【UGPMEN-08DAOF】

尚、PMEE、PMFE形については、お客様でのブラシの交換は難しいため推奨しておりません。

交換が必要な場合は弊社でのブラシ交換の対応可否をお問合せください。

以上